

■ 2021年度 豊岡市地方創生事業実施効果検証報告（「第2期豊岡市地方創生総合戦略第3版」）

資料6

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
KPI（重要業績評価指標）	人口の社会増減の緩和（転入－転出）	基準値 (2019)	△442人（転入1,893人－転出2,335人）
		目標値 (2024)	△388人
		2021実績	△314人（転入1,806人－転出2,120人）

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
豊岡市公式ウェブサイト閲覧数	1,150,000件	2,566,680件

具体的手段 01-01 豊岡の良さが内外に伝わっている

KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧数	135,000件	149,211件

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
1	豊岡ファンミーティング	“豊岡ファン”に市の取組みを紹介する。 豊岡市内キーパーソンと“豊岡ファン”との交流会を実施する。	・参加者数 ・メディア掲載数	35人 85件	0人 0件	<p>【成果】 コロナの影響により2年連続で中止しており、“豊岡ファン”との交流・情報交換機会が減少していることから、“豊岡ファン”との関係維持・強化のため、豊岡の取り組みなどをお知らせするお便りをお届けし関係維持ができた。 オンラインによるメディア営業を実施し、メディア掲載につなげることができた。</p> <p>【課題】 人の移動が制限された場合の代替事業の検討が必要。</p> <p>【今後の対応】 オンライン、リアルをともに活用し、“豊岡ファン”とのかかわりを維持・強化する。</p>	大交流課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
2	Uターン推進（移住プロモーション）	移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」で市民ライターのリアルな暮らし（地域事情・住まい・仕事等）を記事やSNSで発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。	・ SNS (Facebook・Twitter) のフォロワー数 ・ SNSの情報発信回数	4,800件 235回	5,193件 435回	【成果】 新型コロナウイルスの影響により、都市部在住者で地方への興味を持つ方が増加したことに伴い、「飛んでるローカル豊岡」のサイト閲覧数及びSNSのフォロワー数も増加した。増加の要因として「SMOUT」の効果も高いと分析している。 【課題】 全国の地方自治体が同じように情報発信に注力している中、豊岡の知名度向上や、豊岡で暮らす価値がしっかり伝わるような工夫が必要である。 【今後の対応】 サイトのPV数は順調に伸びているが、発信力が強い他の自治体も同様に伸びていると思われるため、本市の取組みがより注目を集めるような新たなプロモーションを展開する。	環境経済課
3	文化と教育の先端自治体連携	構成自治体（2市3町：北海道東川町、富山県南砺市、岡山県奈義町、香川県小豆島町、豊岡市）が連携しながら、文化や教育による先端的なまちづくりの取組みを進める。	・ メディア掲載件数	3件	0件	【成果】 第3回大会をオンライン開催し、演劇的手法を取り入れたコミュニケーション教育の事例発表及びアンケート結果分析の共有等を行った。 【課題】 参加自治体の拡大と非認知能力教育プログラムの推進。 【今後の対応】 連合の広報を強化し、参加自治体の拡大を図る。	大交流課

具体的手段 01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
KPI（重要業績評価指標）		
2022.3月末		
	目標値	実績値
新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	160人	161人

No.	事業名	事業内容	指標設定	2022.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署
				目標値	実績値		
				4	Uターン推進（ジョブナビ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）		

具体的手段 01-03		移住・定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末					
		目標値	実績値				
移住組数（窓口相談等の利用者）		42組	71組				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
5	1ターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）	<p>移住希望者を対象に、地域・住まい・仕事等の情報提供や、視察コーディネート・マッチング等を一括して実施するワンストップ窓口を設置する。</p> <p>移住希望者が多数集まる大阪や東京の移住フェアへ出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。</p> <p>移住者等多様な人々が集う「まちのサードプレイス」を運営する。移住相談と現地案内等を市民と連携・協働して移住推進を図る。</p>	・移住検討者の視察・訪問数	82回	116回	<p>【成果】</p> <p>新型コロナの影響で、都市部から地方への移住に興味を持つ方が増加した。また、以前から地方移住を検討していた方も、この機会に移住するための準備を始める方が増加した。</p> <p>移住検討段階における移住支援策を拡充したことにより、視察・訪問者数や相談件数が増加した。また、効果的なプロモーションを実施したことにより、メディアへの露出も増加し相談件数の増加に繋がった。</p> <p>【課題】</p> <p>移住後の繋がりがりや地域との繋がりを作る機会が不足している。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>各地域コミュニティとの連携を強化していく。</p>	環境経済課
6	定住促進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）	<p>本市への移住を目的に、住居や仕事を探す活動や文化、歴史、風土、気候等を知るために本市を訪れる方を対象に、宿泊費用や飛行機代の一部を補助する。</p> <p>移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」に掲載されている空き家物件を取得、または賃借し、5年以上定住する方に当該物件の改修等の費用を補助する。</p>	・改修・引越し費用の補助金交付実績	15件	21件	<p>【成果】</p> <p>新型コロナの影響で、都市部から地方への移住に興味を持つ方が増加した。また、以前から地方移住を検討していた方も、この機会に移住するための準備を始める方が増加した。</p> <p>移住検討段階における移住支援策を拡充したことにより、視察・訪問者数や相談件数が増加した。また、効果的なプロモーションを実施したことにより、メディアへの露出も増加し相談件数の増加に繋がった。</p> <p>【課題】</p> <p>移住希望者からのニーズが高いのは賃貸用空き家だが、空き家所有者は空き家を手放したい方が多いため、空き家のマッチングが上手くいかないことが多い。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>空き家の掘り起こしや空き家の片付け補助を促進することで、賃貸用空き家の件数を増やす。</p>	環境経済課

主要手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている
---------	---------------------------------

KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	48.0%	44.7%

具体的手段 02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
-------------	----------------------

KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
IT企業誘致件数	1件	1件

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
7	IT企業誘致推進	若者や女性が働きたい職場となることが期待されるIT企業を誘致するため、自治体と地方進出を検討する企業とのオンラインによるマッチングイベントを活用した誘致活動を展開する。 IT企業誘致に関する補助制度の一部を拡充し、地域課題解決に取り組む事業者への支援に対応する。	・IT事業所開設補助金 新規交付決定者数	1人	1人	【成果】 コロナ禍により企業訪問を中止した。 【課題】 コロナ禍でも企業面談が実現できる仕組みを構築する必要がある。 【今後の対応】 サテライトオフィス開設を検討する企業と面談できるオンラインマッチングイベントに出展することで、IT企業誘致を推進する。	環境経済課
8	スマート農業推進	水位、水温及び地温を通信回線を介してスマートフォン等で確認できる水田センサーを活用し、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。	・実証圃場における一等米比率	85%以上	94%	【成果】 飽水管理の実証実験を行うことができた。 【課題】 最終結果は、収穫までの様々な要因に左右されてしまう。 【今後の対応】 生産者部会等と情報共有を図り、当該試験で得られた成果を普及する。	農林水産課

具体的手段 02-02		新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている					
KPI（重要業績評価指標）		2022. 3月末					
		目標値	実績値				
創業件数		22件	19件				
新規就農者数（青年等就農計画の認定者）		3人	3人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022. 3月末			
			目標値	実績値			
9	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）	市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。創業・事業承継に取組む若者・女性のスタートアップに要する経費を支援する。具体的な目標を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。	・ビジネス相談窓口の相談者数 ・ステップアップ事業創出数	30人 15件	62人 12件	【成果】 相談者62人のうち、40歳以下は50人（80.6%）、女性は25人（40.3%）と、若者や女性が相談しやすい体制となっている。また、相談窓口を通じて8人の起業者が生まれている。ステップアップ支援補助制度では、12事業の支援を実施し、市内事業者の成長を支援した。 【課題】 より多くの若者や女性の起業を支援するため、商工団体などの支援機関との連携を強化する必要がある。 【今後の対応】 ビジネス相談窓口の相談者が起業できるよう、補助制度も活用し伴走支援を継続する。	環境経済課
10	政策アドバイザー設置	豊岡市の政策・施策を推進するにあたり、ソーシャルビジネス、まちづくりにおけるデザイン等について、専門的立場から助言等を行う3名の政策アドバイザーを設置する。	・新たな政策立案数 ・案件数	5件 20件	0件 6件	【成果】 専門的なアドバイスを受けることにより効果的な事業内容とすることができた。また、定期的な助言をいただくことで事業担当者にノウハウが蓄積されつつある。 【課題】 案件に偏りがある。 助言回数に限りがあるため、案件に優先順位をつける必要がある。 【今後の対応】 さらに政策アドバイザー制度を活用できるよう、庁内に広く周知し、施策に生かしていく。	大交流課
11	豊岡スマートコミュニティ推進機構	「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」の実現を目指す。公共交通、防災・環境・エネルギーなどのテーマを設け、課題解決を図るための取組みを進めていく。	・課題解決のための施策数	4件	4件	【成果】 市の情報のデジタル化や都市OS、市民DX等、課題解決のための施策に取り組んだ。 【課題】 施策及び事業の効果検証 【今後の対応】 効果検証を行い、より効果的な施策及び事業に注力して取り組みを進めていく。	大交流課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
12	新規就農総合支援	若手就農者へ農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助の支援を行う。 国の農業次世代人材投資事業を活用し、年間最大150万円を給付する。	・青年等就農計画認定者	3人	3人	【成果】 独立就農希望者に対する支援体制が機能している。 【課題】 市内農業の課題（水稻経営や集落営農の担い手育成等）と就農支援策の関連をより強めること。 【今後の対応】 独立就農の支援に加え、雇用就農や集落営農との連携の促進策を検討する。	農林水産課
13	豊岡農業スクール	就農意欲のある研修生（年3人）の募集と、認定農業者への派遣研修（最長3年）事業を豊岡市認定農業者連絡協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。	・農業スクール入校生人数	3人	3人	【成果】 生産・経営の技能をもつ農業人材の育成につながっている。 卒業後市内就農者 23人（自営15人、雇用8人）。 【課題】 市内農業の課題（水稻経営や集落営農の担い手育成等）と就農支援策の関連をより強めること。 【今後の対応】 独立就農の支援に加え、雇用就農や集落営農との連携の促進策を検討する。	農林水産課
14	地域おこし協力隊の推進	新たな視点や発想により、地域の課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。 隊員の活動推進及び隊員の起業支援、新規隊員の募集、お試し協力隊等の実施。	・隊員数（3/31現在）	45人	43人	【成果】 全国TOPクラスの隊員数となり、応募倍率も高水準を保っている。3年間の隊員期間満了後の定住率は全国平均65%に対して、90%と高水準となっている。 【課題】 隊員期間満了後の定住につながる支援等。 【今後の対応】 ミスマッチ防止や定住率向上を目指し、お試し協力隊の積極活用や空き家活用の促進を図る。	環境経済課

具体的手段 02-03		豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末					
		目標値	実績値				
鞆製造品出荷額		109億円	96億円				
鞆産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「鞆縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数		8人	10人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
15	豊岡鞆・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞆ブランドPR推進	鞆産業の技術深化を図るため、財布の生産能力を習得する人材育成事業を行い、産業の新たな柱としての定着を目指す。「豊岡鞆」ブランドの価値を向上させる取組みを支援する。特に、今年開催される東京オリンピックの開催を見据え、高品質を追い求めた「豊岡鞆」ブランドの国内外へ向けた情報発信力を強化する。	・豊岡市内鞆関係企業への1ターン就職者数（当該年度新卒以外就職者及び翌年度新卒内定者） ・財布・革小物製造に取り組む事業所	10人 10事業所	10人 11事業所	【成果】 豊岡鞆、豊岡財布の認知度向上、市外出身者の鞆業界への就職により労働力が確保できた。 【課題】 オンラインを活用したPR強化が必要。各社がスクール生の就職活動のサポートを積極的に出来るよう後押しが必要。 【今後の対応】 豊岡鞆、豊岡財布のブランディング強化により魅力度を向上させ、鞆に関心のある若者を外部から呼び込み、業界の成長を促す。また、対面のためのPRではなく、インターネット等を活用したPR活動も推進する。	環境経済課

具体的手段 02-04		市民が多様な人々を受け入れている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末					
		目標値	実績値				
アーティスト・クリエイター移住者数		5人	9人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
16	多文化共生推進	外国人住民に関する調査研究を引き続き実施し、多文化共生プランを策定する。市役所の窓口等でICTを活用した映像通訳、翻訳アプリを導入する等、多言語による情報提供や相談対応を図る。	・外国人市民の日本語教室への参加人数	140人	138人	【成果】 ・5月に多言語映像通訳サービス等を導入した。 ・9月に多文化共生推進プランを策定した。 ・12月に共同研究が完了した。 【課題】 今後も増加傾向にある外国籍市民の国籍、在留資格、居住地等を把握し、それらに応じた情報発信や事業等を実施する必要がある。また、地域での意識啓発や交流等も進めていく必要がある。 【今後の対応】 関係機関と連携しながら、多文化共生推進プランに基づき、各種事業を展開する。	政策調整課 （生涯学習課）

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
17	子育て支援の総合拠点等整備	アイティ4階に子育て支援の総合拠点を整備するとともに、女性や若者、高齢者、外国人、障害者等「多様な人々が集い・交わる場」を創出し、地方創生を先導する「多様性を受け入れるまちづくり」の場を整備する。	・子育て支援の総合拠点等整備	完成	完成	<p>【成果】 2022年3月に完成。</p> <p>【課題】 【今後の対応】 場の整備が完了し、新たな施設が出来上がった。この施設を活用し、地方創生総合戦略を推進していく。</p>	こども育成課



主要手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている
---------	------------------

KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数	5事業所	12事業所

具体的手段 03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	
KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
ファミリーサポートセンター会員数	280人	299人

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定				
			2022.3月末				
			目標値	実績値			
18	ジェンダーギャップ解消推進	「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021.3）に基づき、職場、家庭、地域、学校等を含むまち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女格差の解消が進んでいると感じる市民の割合</li> <li>【暮らしの中で男女格差を感じる市民の割合】</li> <li>・地域の意思決定・方針決定に参画する女性の割合</li> <li>【地域コミュニティ組織における女性役員の割合】</li> </ul>	全体80% 男性80% 女性80%	全体84.2% 男性84.5% 女性84.1%	<p>【成果】</p> 戦略会議、庁内推進委員会を開催し、ジェンダー視点の主流化への理解を深めるとともに第4次豊岡市男女共同参画プランの策定を行った。意識啓発ワークショップ等を地域コミュニティや幼稚園教諭・保育士、市職員、市民などを対象に開催し、延べ311人が参加した。女性が意思決定・方針決定に参画する仕組みづくりを行う地域や、ジェンダーの視点を意識した個々の行動変容につながっている。 <p>【課題】</p> 固定的な性別役割分担意識とそれに基づく慣行が地域社会に根強く残っている。無意識の偏見や固定観念に気づき、行動変容につながる取組みを継続して行う必要がある。また、ジェンダー視点の主流化に向けた庁内推進体制の整備や女性のエンパワーメントを含む人材育成を行う必要がある。 <p>【今後の対応】</p> ①戦略の進行管理とジェンダー視点の主流化の推進 ②市民の理解拡大と浸透に向けた研修・ワークショップの実施 ③女性の人材育成プログラムの実施 ④男性の座談会の実施 ⑤意識啓発・理解促進ツールの制作（意識啓発マンガ） ⑥ジェンダー平等を題材にした絵本を幼稚園・認定こども園・保育園に配布	ジェンダーギャップ対策室
19	子育て広場管理	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、5か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。 子育て女性のイベント開催の場所とするなど、子育て世代の活用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て広場芝生化実行委員会などにより適切に管理ができている広場の数</li> </ul>	6カ所	6カ所	<p>【成果】</p> 地域における子どもの遊び場として認知され、利用がされている。 <p>【課題】</p> 活用促進と住民による継続的な管理が必要となる。 <p>【今後の対応】</p> 教育委員会、地域の学校園、育成団体との連携を図り、安心して利用してもらえる環境整備や維持管理を支援する。	健康増進課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
20	ファミリーサポートセンター	子どもの預かりなどの支援を受けたい保護者と支援を行いたい者の会員組織を運営する。 会員同士の相互援助が円滑に図れるよう、専任アドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、交流事業等を行う。	・ファミリーサポートセンター会員数  ・送迎や預かりなどの支援サービスを利用している人の人数	280人	299人	【成果】 会員数は増えているが、利用者数は減少している。新規登録者の依頼は増えている。 【課題】 特性のある子どもの預かりや、ファミリーサポートセンター頼みの生活基盤づくりの依頼が増えてきている。 【今後の対応】 会員数増加への取組みを続ける。会員が安心して活動できるよう事務局がサポートする。	こども育成課

具体的手段 03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
	KPI（重要業績評価指標）
	2022.3月末
	目標値
	実績値
	—
	—

具体的手段 03-03		ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末					
		目標値	実績値				
子育て中の就労促進事業による就職内定者数		30人	2人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値	実績値		
21	ワークイノベーション推進	女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指し、経営者、管理職や従業員等の意識改革、行動改革を促す。	・女性従業員の2/3以上が働きやすく働きがいがあると評価している事業所数	5事業所	12事業所	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所対象のセミナー（経営者、管理職、女性従業員向け等）を計10回開催し、延べ192事業所、286人が参加。初めて参加する事業所も相当数あった。また、近隣や県内を中心にジェンダーギャップの解消に積極的に取り組む自治体へ声掛け、参加を得るなど横展開に繋がる動きもあった。</li> <li>・市内9事業所で従業員の働きやすさ、働きがい等に関する従業員意識調査を実施。414人が回答。</li> <li>・従業員の働きやすさ、働きがいが高い水準にある事業所を表彰する制度を創設。8事業所が申込み、うち2事業所を表彰。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの参加者数を増やす。</li> <li>・従業員の働きやすさ、働きがいにつながる優良事例の事業所間での可視化、共有。</li> </ul> <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来から実施している事業所の経営者、管理職、女性従業員向けに加え、男性従業員向けのセミナーを実施する。</li> <li>・従業員の働きやすさ、働きがいにつながる優良事例を可視化、市内事業所で共有し、取組みを拡げていくために、市内事業所有志で構成するワークイノベーション推進会議と連携し、研修会、優良事例共有会などを実施し、取組みを拡げていく。</li> </ul>	ジェンダーギャップ対策室
22	子育て中の女性の就労促進	<p>①事業所へのプチ勤務導入を促進し、子育て中の女性にとって働きやすい職場環境を整備する。また、「お仕事大相談会」を開催し、働きたいが働けていない子育て中の女性の就労を促す。</p> <p>②デジタルマーケティング人材の効果的な育成により、女性のデジタルエンパワーメントを促進するとともに、市内経営者のデジタル化の理解を深めて出口戦略に取り組む。</p> <p>③シングルマザーを対象にパソコン基礎スキルの習得を支援する。</p>	<p>・プチ勤務による市内の子育て中の女性と事業所のマッチング件数</p> <p>・市内の子育て中の女性を対象としたDX人材の育成数</p>	0件	2件	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きたい女性6名がデジタルマーケティング人材育成セミナーを5カ月間受講。習得したスキルを活用し、2名が就職、3名が起業、1名が販路拡大につなげた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX時代の加速に対応した、女性のデジタルエンパワーメントの促進と、市内経営者のデジタル化の有用性の理解など出口戦略が急務となっている。</li> </ul> <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉課と連携しながらシングルマザーのPC基礎スキル習得支援に努める。</li> <li>・働きたい女性対象にデジタルマーケティング人材の育成（※途中離脱を極力減らす工夫）と効果的な出口戦略を推進する。</li> </ul>	ジェンダーギャップ対策室

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
23	子育てママの活躍機会促進	親子の活躍の場を増やす（＝親子の姿を見る機会を増やす）先遣隊として、「NPO法人ママの働き方応援隊」派遣の場を創出する。 子育て女性活動団体へ、イベントの開催経費を補助する。	・子育て中の女性が活躍する姿をまちの人に見せることができた回数	12回	10回	【成果】 赤ちゃんプログラム8回、子育てママによるイベント2回が実施され、子育てを応援する機運が高まった。 【課題】 「NPO法人ママの働き方応援隊」が安定して活動継続できる派遣先の確保が必要となる。 【今後の対応】 市による「赤ちゃん先生プログラム」の派遣事業は2021年度で終了する。NPO法人は、自主的な運営継続を支援する。	健康増進課

主要手段 04		豊岡で人々が世界と出会っている	
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末	
		目標値	実績値
移輸出額（兵庫県市町民経済計算統計）		230,437百万円	公表前

具体的手段 04-01		世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末	
		目標値	実績値
観光消費額（インバウンド宿泊者）		1,937百万円	10百万円
豊岡演劇祭の市外からの来訪者数		2,500人	0人

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
24	城崎温泉街交通環境改善	城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができるようにするため、城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動を行う。	・温泉街で自動車と歩行者が混在しており危険だと感じる人の割合	75%	80%	【成果】 7月に城崎温泉交通環境改善計画を策定。兵庫県に報告すると共に、桃島バイパスの早期着工を兵庫県に要望した。また、2020年12月から実施している「そぞろ歩きルール」の啓発のため、関係事業者を集めた連絡調整会議を11月に開催した。 【課題】 温泉街への車両流入抑制策の検討における地元の合意形成。 【今後の対応】 地元主体による検討を継続する。	建設課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
25	観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）	国内外のテレビ、雑誌等の編集者などを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。 観光に関する様々な客観的データを取得・分析し、その結果をもとに施策を定量的に検証することで、観光による地域への経済波及効果を高める。 無料で利用できる公衆無線LAN環境の提供、市内各地域の多様な特徴を活かしたワーケーション等の拠点の展開に向けた環境整備への支援、テレワーク拠点整備など、受入環境の基盤を整え、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”を創出する。 ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据え、国内誘客促進強化のための情報発信戦略等に基づく大交流ビジョンの実現に向けた国内誘客促進を図る。	・国内メディア掲載数 ・海外メディア掲載数 ・来訪者アンケート収集サンプル数（国内） ・来訪者アンケート収集サンプル数（海外）	85 300 3,600 1,000	76 1,036 2,180 23	【成果】 国内…各社メディアの取材自粛により、メディア掲載件数は減少した。これまで取材実績のあるメディア等へ情報・写真提供を継続的に実施した。 海外…本市からの継続的なリリース制作と現地レップの活動により、SNS・WEBを中心として海外メディア露出は大幅に増加した。 【課題】 メディア業界もコロナにより厳しい状況となっており、招聘費用だけでは、来訪・取材・掲載が難しくなっている。海外メディアの取材が増えるには、渡航制限の解除が必要。 【今後の対応】 国内…これまでのメディア等との関係性を維持するとともに、新規メディアとの関係構築に取り組み、豊岡市の認知度向上を目指す。 海外…現地レップとの連携により、メディアへの露出をさらに増やす。	大交流課
26	観光まちづくり推進（専門人材配置）	専門的な視野を持った経営人材やマーケティングの専門家などを豊岡観光イノベーションに配置する。	・外国人観光客宿泊者数	106,000人泊	478人泊	【成果】 コロナの影響によりインバウンド需要は見込めず、国内観光客の誘致に向けたマーケティングやコンテンツ造成に取り組んだ。 【課題】 豊岡観光イノベーションにおけるプロパー人材の育成。 【今後の対応】 専門人材のスキルをプロパー人材に移していく。	大交流課
27	インバウンド誘客推進	世界的な新型コロナウイルス感染症感染拡大による海外渡航制限の現状を鑑み、海外現地レップ（情報発信等代理店）、本市外国語版ホームページ等による情報発信を基本とした事業を実施する。特に、各国の感染状況により、比較的早期の訪日観光回復が見込まれるアジア市場（特に台湾）を重点としたプロモーションを行う。	・Google全体での検索回数（“Kinosaki”） ※英語・フランス語	91,000回	84,800回	【成果】 外国語版ウェブサイトとSNS、情報発信代理店である海外現地レップによる情報発信を中心に取り組み、露出を増やした。 【課題】 時機を逸することなく、選ばれる観光地として、必要な対応をしていく必要がある。 【今後の対応】 反転攻勢をかける誘客キャンペーンの実施。	大交流課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
28	豊岡演劇祭協同開催	豊岡演劇祭2021を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。また、フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指して開催し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。	・豊岡演劇祭おける市外来場者数	2,500人	0人	【成果】 豊岡演劇祭2021の開催に向け、SNS等における情報発信を行うなど準備を進めていたが、開催期間を対象に緊急事態宣言が発令されたことを受け、止む無く中止した。 【課題】 コロナ禍における演劇祭のあり方を検討する必要がある。 【今後の対応】 演劇祭におけるウィズコロナ、アフターコロナのあり方を検討する。	大交流課
29	観光データ基盤構築活用	デジタル技術の活用により、観光データ等をすばやく把握することで、観光関連事業者の費用削減、利益向上を実現する。来訪者の利便性や満足度を向上させ、よりよいサービスの提供を通じて、地域全体の発展につなげる。	・参画施設数	40施設	41施設	【成果】 豊岡市、豊岡観光イノベーション、城崎温泉の事業者が一丸となり、城崎温泉全体の宿泊予約情報や宿泊プラン在庫情報等を自動集約し、データを図表化・可視化して観光地マーケティングに活用するシステム（「豊岡観光DX基盤」）を構築した。 【課題】 ランニングコストを抑えながら、持続的に当該システムを運用し、発展させていく必要がある。 【今後の対応】 観光DX基盤にCRM機能を追加し、リトリート・周遊・消費促進に取り組んでいく。	大交流課

具体的手段 04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
KPI（重要業績評価指標）	
2022.3月末	
目標値	
実績値	
コウノトリ育むお米輸出総量	40.0トン
	18.6トン

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
30	コウノトリ育むお米ブランド化推進	消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、輸出事業者等と協働し国内外で情報発信等を展開する。 コロナ影響により海外商談会への出展ができなかったため、スイスとフランス向けにオンラインによる販売プロモーションを実施した。	・コウノトリ育むお米輸出総量	40.0トン	18.6トン	【成果】 既存取扱店の減少に加え、新たな販路獲得ができず販路が減少した。フランスへの輸出が1年以上ないため、輸出先国リストから削除（現在8か国地域） 【課題】 生産量の増加。 【今後の対応】 既存設置の市web（グローバルサイト）で海外向けに情報発信する。	農林水産課

具体的手段 04-03		国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署		
		目標値	実績値				
アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 *累計		1,520人	2,159人				
アーティスト・クリエイター移住者数		15人	9人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
31	出石永楽館歌舞伎	豊岡のイメージアップと交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として、「第13回永楽館歌舞伎」を開催する。	・市民チケット販売数	1,200枚	0枚	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止。	出石振興局 地域振興課
32	芸術文化参与の設置	「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略アドバイザーとして、引き続き芸術文化参与を設置し、地方創生総合戦略の推進を図る。	・芸術文化施策の立案に参考とした助言の数	5件	4件	【成果】 文化芸術創造交流事業協議として、年間を通して5回会議を実施し、助言等を得ることができた。 【課題】 特になし 【今後の対応】 引き続き芸術文化参与として、豊岡市の芸術文化政策について助言及び指導をいただく。	文化振興課 (文化・スポーツ振興課)
33	豊岡アートシーズン2021	文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2021（豊岡アートシーズン2021）」として展開し、市の文化芸術の魅力を内外に向け発信する。	・文化施設利用者数	338,000人	58,893人	【成果】 様々な文化事業を「Toyooka Art Season」として一つのパッケージにまとめ、一体的に情報発信を行った。主要10事業と参加68事業を実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主要10事業のうち1事業は規模を大幅に縮小しての開催となった。また、参加事業については、9件の中止と1件の延期が発生する結果となった。なお、参加68事業のうち、8事業については、民間団体が主催する事業を公募し応募を得たもので、前年度比で1件の減となった。 【課題】 コロナ禍でも多くの方に参加いただけるような方法（オンライン）などの検討。集客方法。 【今後の対応】 感染拡大に留意しながら、引き続き関係部署と連携し合い、豊岡市内の文化芸術事業について一体的な広報を行っていく。	文化振興課 (文化・スポーツ振興課)

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）			事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署
			指標設定	2022.3月末			
				目標値	実績値		
34	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2021参加）	第7回おんぶの祭典（子どもたちのためのコンサート、学校訪問コンサート、街角コンサート、稽古堂イブニングコンサート、グランドフェスティバル）を開催する。	・高校生以下の参加者数	2,000人	1,000人	【成果】 感染症対策を講じながら、音楽を体験できる機会を提供し、子どもたちへ生の音楽を届けることができた。 【課題】 感染症対策を講じながらの事業展開 コロナ禍における集客と広報 【今後の対応】 実行委員会を中心に、豊岡市や教育委員会と連携した事業運営を継続する。2021年度に開学した専門職大学及び学生と連携を検討していく。	生涯学習課
35	城崎国際アートセンター事業（豊岡アートシーズン2021参加）	城崎国際アートセンターの芸術面での新たな展開を目指し、新たな芸術監督及び館長を迎える。 引き続き芸術文化の国際的戦略拠点として運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化を図る。	・アートシーズン参加事業、ほか地域交流プログラム参加者数	1,300人	1,468人	【成果】 7事業がコロナの影響により延期もしくは中止となったものの、目標値を超える来場者数を記録した。 密集を避けるため定員を設け開催回数を増やしたり、空間の使い方を工夫することで、感染対策に配慮しながらもより多くの来場者が鑑賞・参加できた。 【課題】 特になし 【今後の対応】 引き続き感染対策を実施しながらできるだけ多くの来場者が鑑賞・参加できるよう取り組む。	大交流課
36	城崎国際アートセンター運営（アートマネジメント等業務委託）	城崎国際アートセンターの芸術面での新たな展開を目指し、新たな芸術監督及び館長を迎える。 引き続き芸術文化の国際的戦略拠点として運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化を図る。	・公募プログラムの応募件数 ・うち海外からの応募件数	60件 30件	63件 25件	【成果】 応募総数：2020年度80件、2021年度71件と比べると、2022年度は63件と減少しており、特に国外の応募が減少。国内の応募数は平年並みであった。 SNSでの発信ビジュアルを日・英用意し、ポスタービジュアルと統一することで効果的に宣伝を行うことができた。 【課題】 渡航制限が緩和された際には、海外への発信方法を検討し直す必要あり。 【今後の対応】 発信ビジュアルについては今年度のやり方を継続し、海外のアーティストへの情報提供について渡航制限の様子をみながら検討・実施していく。	大交流課



No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
37	アーティスト・イン・レジデンス事業	選者によって選ばれた国内外からの最先端のアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。また、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	・公募プログラムの応募件数 ・うち海外からの応募件数	60件 30件	63件 25件	【成果】 応募総数：2020年度80件、2021年度71件と比べると、2022年度は63件と減少しており、特に国外の応募が減少。国内の応募数は平年並みであった。 SNSでの発信ビジュアルを日・英用意し、ポスタービジュアルと統一することで効果的に宣伝を行うことができた。 【課題】 渡航制限が緩和された際には、海外への発信方法を検討し直す必要あり。 【今後の対応】 発信ビジュアルについては今年度のやり方を継続し、海外のアーティストへの情報提供について渡航制限の様子をみながら検討・実施していく。	大交流課
38	アーティスト・クリエイター移住等促進	アーティスト・クリエイターが、豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報の提供及び相談を受ける機会を設ける。	・アーティスト・クリエイターの移住者数	5人	9人	【成果】 オンラインで移住相談会を開催し、参加者からは高い満足度を得られた。 【課題】 メインターゲットとしてきた劇団の移住希望者は頭打ち状態なので、ターゲットを広げる必要がある。 【今後の対応】 専門職大学の学生や、豊岡演劇祭参加アーティスト、ワーケーション利用者にも対象を広げ、本市への移住を促進する。	大交流課
39	演劇のまちづくり推進	市独自の認証による大道芸を中心としたパフォーマンスのライセンスを交付し、アーティストが市内で自由に活動できる環境を整えるとともに、市民や観光客がアートに触れる機会を創出できるよう制度構築を進める。 「深さをもった演劇のまちづくり」を対外的にPRすることにより、豊岡のまちづくりに共感する企業を増やし、企業版ふるさと納税の獲得を目指す。	・企業版ふるさと納税寄付金額	20,000千円	6,200千円	【成果】 目標値を超えるパンフレット配布を行い、昨年度の約2.6倍の寄付を得ることができた。 【課題】 演劇のまちづくりPRの促進 【今後の対応】 パンフレット配布のみならず、WEB等様々な方法でPRを進めていく。	大交流課

具体的手段 04-04		世界の人々と対等に向き合える人材が増えている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末					
		目標値	実績値				
イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数		51人	0人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
40	専門職大学連携推進	芸術文化観光専門職大学内に設置が予定されている、「地域リサーチ&イノベーションセンター」と協働して、但馬全体で地域の課題解決を進める。	・臨地実務実習受入先施設数	70施設	77施設	【成果】 臨地実務実習受入先施設を増やししていくためには、大学と連携した取り組みが不可欠である。このため、地域連携事業として、高校コミュニケーションワークショップやジュニアプレカレッジ事業等、地域の課題解決に向けた4事業を実施した。 【課題】 各実習受入先の特徴を活かした授業計画の作成。 【今後の対応】 専門職大学と連携して授業計画等を検討・作成していく。	大交流課
(再掲)	英語教育推進	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることでできる力を高める。教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。	・中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	63%	59%	【成果】 全小・中学校において、豊岡市英語教育カリキュラムや学習指導要領に則り、日本人教員と外国語指導助手の連携により、英語遊び・外国語活動・英語科の授業を行った。なお、8月に開催予定であった「イングリッシュ・サマーキャンプ」は、コロナの影響により開催を中止した。 【課題】 小学校教員の英語指導力の向上。小・中学校の連携強化。 【今後の対応】 豊岡市英語教育カリキュラムの見直しや各中学校区内での小中合同研修を実施し、教員の指導力の向上を図る。	こども教育課

主要手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている
---------	-----------------------

KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
	小学生 65.9%	小学生 55.9%
	中学生 41.5%	中学生 50.7%

具体的手段 05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
-------------	---------------------

KPI（重要業績評価指標）	2022.3月末	
	目標値	実績値
	小学生 85.6%	小学生 86.3%
	中学生 83.7%	中学生 85.6%

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定				
			2022.3月末				
			目標値	実績値			
41	ふるさと教育推進	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習課題とし、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	・今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学生 94.9% 中学生 79.1%	小学生 86.1% 中学生 75.2%	<p>【成果】 豊岡の「ひと・もの」に直接出会い、学ぶことで、子どもたちがふるさとのすばらしさを感じ、ふるさと意識を高めることができた。</p> <p>【課題】 子どもたちが、ふるさと学習での学びを自分の在り方や生き方につなげて考えるところまで高めていくこと。</p> <p>【今後の対応】 学習前後の自分自身と比較したり、多様な感じ方や考え方に触れたりする機会を増やしていく。</p>	こども教育課
42	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	市内のものづくり企業の認知度向上を目的に、豊岡市工業会が開催する企業展示等ものづくり体験教室の支援を行う。	・「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」への来場者数 ・ものづくり体験教室参加者数	550人 440人	0人 0人	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止。</p> <p>【課題】 開催にあたっては、3密を避ける等の工夫が必要。</p> <p>【今後の対応】 3密を避けて、かつ目的を達成できるような手法について検討する。</p>	環境経済課 (豊岡市工業会)

具体的手段 05-02		子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている					
KPI (重要業績評価指標)				2022. 3月末			
				目標値	実績値		
自分自身が関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合				55%	36%		
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022. 3月末			
				目標値	実績値		
43	高校生コミュニケーション教育等支援	各高校で実施される地域探究、企業見学、地域課題解決学習及び学校外での地域を活性化するための事業を支援する。	・ふるさとへ愛着を持っている高校生の割合	60%	60%	【成果】 各高校での地域探究や企業見学等の取り組みが活発に行われており、また、学校外での活動を支援した高校生グループが全国コンクール等で結果を残すなど、高校生の地域との関わりが少しずつ進んできている。 【課題】 自分のサードプレイスを持っている高校生の割合が少なく、高校生の居場所づくりが課題と考える 【今後の対応】 各地で活動する地域おこし協力隊員やコミュニティ組織と連携してサードプレイスとしての場づくりを行っていく。	環境経済課

具体的手段 05-03		子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる					
KPI (重要業績評価指標)				2022. 3月末			
				目標値	実績値		
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合				小学生 85.6%	小学生 82.8%		
中学校卒業時の英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合				中学生 80.8%	中学生 80.3%		
				63%	59%		
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022. 3月末			
				目標値	実績値		
44	コミュニケーション教育推進	すべての小学校6年生と中学校1年生が演劇的手法を用いて、コミュニケーション能力の向上を図る。	・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合	小学生 85.6%	小学生 82.8%	【成果】 通常の授業の中に「めざすコミュニケーション能力の視点」を活かした活動を取り入れ、他者を受け入れ自分の考えを広げ深めながら課題解決を図る協働的な学びが行われている。 【課題】 通常の教科学習や特別活動などにおいて、めざすコミュニケーション能力の視点を取り入れて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。 【今後の対応】 教育活動全体で、他者と合意形成を図りながら課題解決に向けて粘り強く取り組む活動を通して非認知能力の向上を図る。	こども教育課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
				目標値			実績値
45	英語教育推進	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることでできる力を高める。教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。	・中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	63%	59%	【成果】 全小・中学校において、豊岡市英語教育カリキュラムや学習指導要領に則り、日本人教員と外国語指導助手の連携により、英語遊び・外国語活動・英語科の授業を行った。なお、8月に開催予定であった「イングリッシュ・サマーキャンプ」は、コロナの影響により開催を中止した。 【課題】 小学校教員の英語指導力の向上。小・中学校の連携強化。 【今後の対応】 豊岡市英語教育カリキュラムの見直しや各中学校区内での小中合同研修を実施し、教員の指導力の向上を図る。	こども教育課
46	豊岡の未来を創る高校生支援事業	高校版ローカル&グローバル教育に取り組む豊岡総合高校の生徒を対象に、カナダ・ピクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。	・参加生徒のサマースクールスタッフ数(累積)	30人	10人	【成果】 カナダでの語学研修への参加は中止した。 【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2年連続事業実施できない状況がある。 【今後の対応】 2022年度を最終年とし、事業廃止。	こども教育課
47	非認知能力向上対策	非認知能力向上のため、モデル校2校において、平田オリザ氏監修のプログラムにより、小学校1年生～3年生に演劇ワークショップを試行的に実施するとともに、効果測定を行う。	・アンケート調査は実施するが、KPIの目標値としては適さない	—	—	【成果】 演劇ワークショッププログラムの実践により、事後において「協働性」「自制心」「自己効力感（やり抜く力）」にプラスの変化が見られた。 【課題】 結果の分析により、平均値は高いものの、数値の高止まり傾向が見られた。細やかな変化が見えにくいという課題が見られた。子ども一人一人の観察とフィードバックのを行う必要がある。 【今後の対応】 市内すべての小学校1年生において演劇ワークショップを年間3回開催し、非認知能力の向上に努める。子どもへのかかわりやプログラムのねらいを担任等と共有し、通常の授業や生活にも反映させていく。	こども教育課
48	英語遊び保育推進事業	就学前（4、5歳児）の子どもたちを対象に、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う英語遊び指導員を巡回派遣する。	・「英語遊びは楽しい」と思っている園児の割合	96.5%	96.4%	【成果】 2021年度は英語遊び巡回指導内容の質を保障するとともに、さらに向上させることを目的として、指導員を対象とした「子ども理解を深める研修」を実施した。 英語遊び巡回訪問を通して、子どもの姿や事実から学びの要因を話し合うことにより、英語だけでなく、子どもへの寄り添い方や指導内容・方法を考える良い機会になった。 【課題】 ・小学校英語教育との情報共有。 ・7名の指導員による指導内容の質の保障。 【今後の対応】 引き続き、指導員対象の「子ども理解を深める研修会」を実施し、質の保障と向上を図る。	こども育成課

主要手段 06		結婚したいと思う人が結婚できている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末					
		目標値	実績値				
婚姻数		284組	秋公表				
具体的手段 06-01		若者が集い、交流する場が増えている					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末					
		目標値	実績値				
婚活イベントによる成婚数		1組	0組				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
49	民間団体への婚活イベント補助	独身男女の多様な出会い機会を創出するため、民間団体が主催する婚活・恋活イベントへ補助する。	・成婚数 ・カップル成立数	1組 10組	0組 0組	【成果】 イベントを開催する団体がなく、成果につながらなかった。 【課題】 感染防止のため、婚活イベントが企画・実施されない。 【今後の対応】 コロナの収束状況を見極めながら、関係団体への周知と依頼を行う。	健康増進課
50	若者独身者交流	「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに、カップリングを行わない交流の場を設ける。	・若者参加者数（延べ人数）	120人	150人	【成果】 若者たちの交流する機会を増やし、市が推進している結婚支援事業を周知することができた。 【課題】 若者が参加したいと思える魅力のある企画、運営が求められている。 【今後の対応】 若者のトレンドにマッチした事業を展開できるように一とピー企画委員会が中心となり企画・運営を行う。	健康増進課

具体的手段 06-02		多種多様な出会いの機会が充実している					
KPI（重要業績評価指標）				2022.3月末			
				目標値	実績値		
出会い機会創出事業実施による成婚数				9組	10組		
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
51	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）	女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いを行う機会を創出する。	・成婚数 ・お見合い数	3組 50件	0組 64件	【成果】 成婚数は目標値を達成することができなかったが、市の結婚支援策を周知する機会となった。 【課題】 イベントとしての新鮮さが薄れてきている。 【今後の対応】 事業に協力いただいている美容師等ファッション関係の専門家にも意見を聞く中で、若者のトレンドにマッチした事業内容の改善を検討する。	健康増進課
52	出会い機会創出（はーとピー）	婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施し、結婚を支援する。また、専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	・成婚数 ・カップル数	6組 53件	10組 59件	【成果】 コロナ禍の中、事業を継続的に実施し、目標値の成婚数を達成することができた。 【課題】 これまでイベントに参加したことのない若者が参加できる工夫や周知方法等の検討が必要である。 【今後の対応】 参加者や専門家の意見も取り入れ、若者のトレンドにあう魅力のあるイベントに取り組む。	健康増進課

具体的手段 06-03		交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実してし					
KPI（重要業績評価指標）		2022.3月末			事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
		目標値	実績値				
ボランティア仲人による成婚数		4組	11組				
結婚相談所による成婚数		8組	3組				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2022.3月末			
			目標値	実績値			
53	ボランティア仲人養成（縁結びさん）	ボランティア仲人「縁結びさん」を養成し、活動を支援する。 ボランティア仲人が結婚相談所や婚活イベント等に行かない独身者層のご縁を取り持ち、結婚を支援する。	・成婚数（「恋するお見合い」による出会いを除く） ・お見合い件数（「恋するお見合い」によるお見合いを除く）	4組 133件	11組 314件	【成果】 目標を大きく上回る成婚数を達成することができた。 【課題】 成婚数を増やしていくため、さらなる独身登録者の加入促進とボランティアの資質向上が求められる。 【今後の対応】 ボランティア仲人の資質向上のための研修、学習会の実施やボランティア同士の情報交換を行い、連携を強化する。	健康増進課
54	結婚相談所機能拡充	社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員の成婚報奨金を補助する。また、担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。	・成婚数 ・お見合い数	8組 218件	3組 151件	【成果】 コロナの影響により、活動が低下したため、婚姻数が減ってきている。 【課題】 登録者数、お見合い件数が増加していない状況である。【今後の対応】 相談日を土曜日午後に設定し、若者が相談しやすい環境づくりに取り組む。	健康増進課
53	結婚・女性活躍促進調査	「若者の動向に詳しい者」や「市内に在住する若者」の意見を聞き、市が行う婚活事業を推進する。	・「ハートリーフ協議会」開催回数	2回	0回	【成果】 2019年度をもって協議会を廃止している。 はーとピー実行委員会やイベント参加者に意見を聞くことにより、対応できている。 【課題】 特になし。 【今後の対応】 当面協議会の設置は考えていない。	健康増進課